

The Power of Sports



山形県企業スポーツ振興協議会

CSP+

YAMAGATA PREF. COMPANY SPORTS
PROMOTION CONFERENCE

vol.28

August
2022

ごあいさつ

日頃より当協議会へご支援をいただいている多くの皆様に対し、厚く御礼を申し上げます。

スポーツ界においては、新型コロナウイルスの影響による制限はあるものの、感染防止対策を講じたうえで各種大会が開催されるなど、長期化するコロナ禍において最善策を模索しながらの活動が行われております。

さて、今年2月から3月にかけて北京2022冬季オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されました。同大会ではスピードスケート男子500mにおいて、山形中央高校出身の森重航選手が銅メダルを獲得するなど、本県関係者6名が素晴らしい活躍をみせてくれました。多くのアスリートが活躍する姿を通して、世界中が夢や感動・希望で

盛り上がり、スポーツが持つ力を再度認識する素晴らしい機会となったことと思います。

当協議会会員企業に所属する選手・チームにつきましても、全国・東北大会といった高いレベルで活躍をみせるなど、県民に元気を与えてくれる存在となりました。今後も会員企業の皆様と選手・チームが連携し、継続的に競技活動に取り組んでいただくことは、国民体育大会や各種大会でのより一層のご活躍につながるものと期待するところです。

当協議会としましても、会員企業の皆様とともにスポーツ活動の輪を広げ、本県スポーツ界の活性化および発展に努めてまいりたいと考えております。

今後とも、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。



山形県企業スポーツ振興協議会
会長 長谷川 吉茂
(株式会社山形銀行 取締役頭取)

2022シーズンスローガン 「ブッチギレ」



(C)MONTEDIO YAMAGATA

株式会社
モンテディオ山形 **モンテディオ山形**
(2021シーズン) 日本プロサッカーリーグ・J2/7位

「目指せ、B1昇格！」



(C)Paslab Inc.

株式会社
パスラボ **山形ワイヴァンズ**
(2021-22シーズン) B2リーグ東地区/5位

輝く明日に向かって

山形県企業スポーツ振興協議会では、会員企業などに所属する競技選手・チームにレベルアップのための活動費を助成しています。その皆さんの活動報告を紹介します。

株式会社きらやか銀行

<硬式野球> 硬式野球部



令和3年度は、日本選手権・都市対抗野球大会の本選出場を目標に掲げ、新人5名を迎え始動しました。残念ながら共に出場を果たすことはできませんでしたが、都市対抗野球大会最終予選においては、敗れはしたものの代表決定戦に出場することができました。チームの若返りを図っている状況下において翌年に繋がる貴重な経験となりました。多くの方々の声援も頂戴し感謝いたします。

Baseball

令和4年度は、新人4名を加え、「志と覚悟」のスローガンのもとスタートしました。山形の皆様に明るいニュースを届けられるよう精進し、挑戦して参ります。

最後になりますが、山形県企業スポーツ振興協議会の皆様をはじめ、山形県民の皆様からご声援とご支援をいただき感謝いたします。

株式会社置環

スキー部 <スキー>



Ski

令和3年度の目標も引き続き「国体優勝・入賞」を掲げ活動をしてきました。

選手構成はいずれも男子でアルペン2名(佐藤慎太郎、三上大我)、クロスカントリー1名(石川潤)、ジャンプ2名(齋藤康哲、島貫寛基)の5名で取り組みました。

国体では、成年Aジャイアントスラロームで三上大我が15位、成年Bクラシカル10kmで石川潤が10位、成年男子リレーでは3走で健闘し4位入賞の成績を収めることができました。スペシャルジャンプ成年Bでは齋藤康哲が14位、成年Aで島貫寛基が25位と惜しくも年間目標には届きませんでした。

今季ヨーロッパをメインに活動した佐藤慎太郎は、FISジョージア国選手権では25位(邦勢3位)、FIS J-powerスラローム大会優勝等の成績を収めました。また、全日本アルペンコーチとして、清野嵩悠がワールドカップ、世界ジュニア選手権に派遣され活躍しました。

来季は2024年に予定されている山形県開催の冬季国体に向け、狙ったレースは失敗しない、怪我をせず1年間活動できる強い選手を目指し、弊社で経営のココロとカラダをリカバリーする蔵王坊平「高源ゆ」を拠点にトレーニングに励みます。また、地域貢献の一環として地元高校スキー部アルペン競技の指導を継続して行っており、インターハイ入賞を目標に活動をしていきます。

最後になりますが、当協議会の皆様からの温かいご声援とご支援を賜りましたことに心より感謝申し上げます。



株式会社でん六

男子バドミントン部

<バドミントン>

令和3年度もコロナ禍に振り回された一年となりましたが、一步前進した年とも言えました。毎年行われる予定の全試合がコロナ禍により中止となりましたが令和3年度は、選手、役員、関係者の皆さんの安全を第一に考え、感染対策のスキルをアップさせて、毎年県内で行われる予定の試合7割程が開催されました。残念ながら全国規模の大会は参加人数が多い為、引き続き中止となりました。今後はコロナ禍においても、できる限りの対策を請しながら、コロナ禍と共存共栄していく流れとなるのでしょうか。

今後はそんな困難な状況下を力に変え、少しでも本県のスポーツ界の発展に努め、コロナ禍においてもバドミントン活動を続けて行ける事に日々感謝の心を忘れずに活動して参ります。

最後に山形県企業スポーツ振興協議会の皆様をはじめ多くの関係者から温かいご声援、ご支援を頂きまして深く感謝申し上げますと共に今後とも引き続きご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

アランマーレ <バレーボール>

2021年10月に開幕した2021-22V. LEAGUE DIVISION2は、レギュラーラウンドを3位で終え、個人賞のブロック賞を菅原里奈が2年連続受賞しました。また、ファイナルラウンドでは通算1勝2敗で最終順位を3位で終わりました。

チーム創設7シーズン目となる2021-22シーズンは開幕から好調を維持していましたが、2022年年明けから新型コロナウイルスの影響で公式戦を辞退するチームや、試合の中止などでリーグ全体に大きな影響が出てしまいました。

アランマーレはレギュラーラウンド東京大会で感染者が発生し辞退、またファイナルステージ最終戦でも感染者が発生し、レギュラー不在の中で戦い、あと1点が取れず入替戦出場を逃してしまいました。

2年連続で新型コロナウイルスの影響で涙を呑む結果となり、不完全燃焼で終わってしまいました。2022-23シーズンは途中加入1名、そして新人4名を迎え、V1昇格への道をつかみ取りたいです。



Volleyball



Kendo 剣道部 <剣道>

令和3年度も新型コロナウイルスの影響で5月酒田市体育大会中止、9月TDK杯、東北実業団大会が中止になりましたが、7月国体県予選、山形県剣道大会は無観客での開催となりました。いつも通りの練習はできませんでしたが、個人戦、団体戦ともに出来る限りの力は出せたと思います。

練習においては、昨年同様コロナ対策として面マスク、フェイスマスクを活用し、アルコール消毒、換気を行い少人数での練習、外部と交流をしない、また短時間という条件で活動を行いました。試合のない中、モチベーションを維持するのがとても大変でしたが、基本を中心に体力維持を心がけて活動を行いました。

今年度も引き続きコロナ対策をしながら活動を行なっていきたいと思っています。

佐藤 華瑠香選手 <ホッケー>

令和3年度におきましても活動を支援いただきありがとうございました。

コロナ禍の活動も2年目となり、県外からのチームを招いての練習試合が出来たり、学生たちの試合も一部有観客が許可されたりと本当に少しずつではありますが今までの形に戻りつつある状況で非常に嬉しく思っていました。

昨年は目標にしておりました全国社会人大会への出場が決定し、栃木県で開催される9月の大会へとチーム全体で士気を高め練習に励んでおりましたが、コロナ感染状況の悪化から止む無く大会自体が中止となりやり場のない悔しさでいっぱいになりました。

国体予選も中止になり、一時目標を見失いそうになりましたが、周りで応援して下さい下さっている方々に支えられ気持ちを切り替えまた練習に励むことが出来ました。私たちの活動は本当にたくさんの方々を支えられ続けているのだと改めて実感したとともに、気持ちを新たに今年の大会の無事開催を祈りながらも日々の練習に励んでいきたいと思っています。引き続き応援の程宜しくお願い致します。



Hockey

軟式野球部 <軟式野球>



令和3年度も新型コロナウイルスの影響で、活動が制限される中でのシーズンではありましたが、地域の皆様、職場の皆様、各関係者の皆様のご指導・ご協力のもと1年間を通して活動を行うことができました。県外遠征や対外試合等は、例年の半数以下となり、大会に向けた準備が厳しい状況ではございましたが、山形県予選では、大会9連覇を達成し、全国大会への出場権を獲得することができました。

10月に東京都で開催された天皇賜杯第76回全日本軟式野球大会では、1回戦で北海道代表のJAようていと対戦。6-2で勝利し、3年ぶりに勝利をおさめることができました。しかし、2回戦では、全国優勝の経験がある香川県の日本通運四国に10-1と大差で敗退。天候に恵まれなかったことだけではなく、まだまだ力不足を感じた試合となりました。

令和4年度シーズンは、各々が課題を持ち、より上位へ進出できるよう精進して参ります。大変な時期ではありますが、応援して下さるすべてのの方々に感謝し、日々の活動に取り組んで参りますので応援宜しくお願い致します。

Baseball



Basketball ライヤーズ <バスケットボール>

令和3年度は、『今シーズンこそは日本一』と目標を掲げ練習に取り組んできましたが、国民体育大会・チャンピオンシップともに全国大会への出場権を獲得しながら、いずれも大会が中止となってしまいました。木林新ヘッドコーチのもと、ミニ国体で三連覇、皇后杯ではWリーグ所属チーム相手に勝利しベスト16、東日本地域リーグでは全勝優勝を成し遂げるなど、チーム状態も良かっただけ

に残念な結果となりました。

今シーズン、3名の新人選手を迎え、合計13名での活動となります。ここ数年全国優勝ができていない状況ではありますが、今シーズンこそは全国優勝し、山形県の企業スポーツを活気付けられるよう頑張っ参ります。新型コロナウイルス感染症の影響がある中、日頃練習や活動ができていることに感謝し、今シーズンは結果で恩返しができるよう努力いたします。

黒澤 かわり選手 <陸上競技> Athletics

令和3年度レベルアップ支援事業補助金を交付していただき、支援を賜りまして誠にありがとうございます。令和3年度もコロナ禍での大会開催となり、いくつかの大会が中止されました。そのような中でも、5月中旬に開催されました、第63回東日本実業団陸上競技選手権大会において、第4位に入賞することができました。自身が目標としている全国優勝には、まだまだ及びませんが、社会人という環境の中で、試合に出場することができ記録を残し、他の選手と戦える喜びを味わうことができました。

また、昨年のシーズンオフ期間には、県・東北地区の高校生を対象とした合宿が行われ、指導スタッフとして参加させていただきました。これまで競技者として陸上競技に取り組んで参りましたが、指導者として陸上競技に向き合い、これまでと違った難しさがあり、学生や指導者の皆様から学ぶことが沢山ありました。更に経験を積み、競技者と指導者としての力をつけていきたいと思ひます。



畑 伸秀選手

ケイタ・シェイク選手

田中井 紘章選手

<バスケットボール>



Basketball

【畑 伸秀 選手】

令和3年度もレベルアップ支援事業補助金を交付いただき大変光栄に思います。渋谷建設株式会社の代表として今年もバスケットボールに取り組みさせていただきました。

令和3年度は新メンバーを迎え、東北地域リーグを4位で終えて全国チャンピオンシップ大会出場権を勝ち取りましたが、新型コロナウイルスの影響により残念ながら全国大会は中止となりました。毎年各チームがメンバーを補強しており、東北のレベルが上がっていることを実感しております。そんな中でも結果を求め全国の舞台でも勝利できるよう今後も競技力を維持していきたいと思ひます。

また、令和3年度は山形県成年男子バスケットが13年ぶりに自力で勝ち抜き国体出場権を手にすることができました。新型コロナウイルスの影響により三重とこわか国体は中止となってしまいましたが、継続して国体出場を目指し精進していきたいと思ひます。

【ケイタ・シェイク 選手】

レベルアップ支援事業補助金を交付いただき大変光栄に思います。渋谷建設株式会社に入社して社会人となった昨年は大変でしたが、皆さんに支えられ日々頑張っています。15歳から母国を離れ日本で生活していますが山形の地には初めて来ました。所属している山形クベーラでは東北地域リーグ戦を4位で終えて全国大会に向け練習を重ねていましたが、大会が中止となり非常に残念でした。来年こそはリベンジしたいと思ひます。

昨年夏には山形県成年男子国体メンバーに選出していただき山形のユニフォームを初めて着た時はとても嬉しかったです。三重とこわか国体の出場権を獲得できましたが、残念ながら国体は中止となってしまいました。今年も試合に勝利し山形代表として国体に出場したいと思ひます。

会社の皆さんをはじめ、山形のバスケットボール関係者など様々な人に支えられていることを忘れずに今後も頑張りたいと思ひます。

【田中井 紘章 選手】

令和3年度は、「国民体育大会出場」という個人目標を掲げ取り組んできました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、私自身は地域リーグ東北予選会には参加することはできませんでしたが、国民体育大会東北予選会は、職場の方々の支えがあり、大会に参加することができました。結果は東北準優勝、国民体育大会の出場権を獲得となりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により国民体育大会三重大会は中止となりました。私は、高校3年生の時に行われた「岐阜清流国体」にて全国ベスト4という結果に終わり、高校時代のリベンジができると思ひ、練習等に励んできましたが、残念な結果に終わってしまいました。

令和3年度の活動を振り返り、大会自体に参加できることが当たり前ではなく、職場の方々の支えと理解があったからこそ、大会に参加ができたと思ひます。日頃から感謝の気持ちを持ちながら、バスケットボールを通じ、人間的にも成長していきたいと思ひます。



Kyudo

<弓道> 山本 京子選手

令和3年度レベルアップ事業補助金を交付いただきありがとうございました。

新型コロナウイルス感染防止対策を講じての各種大会が少しずつ開催され、国体出場権を賭けた東北総体に出場することができました。結果は残念ながら国体への出場権を獲得することは叶いませんでした。精一杯のパフォーマンスができたのは、県連の役員の方々や大会運営に携わってくださった方々のきめ細かなサポートがあったからこそでした。本当にありがとうございました。今後も、レベルアップを目指し精進していく所存です。

NDソフト アスリートクラブ

<陸上競技・駅伝>



Athletics

またCSR活動の一環として、南陽市学童陸上記録会前に市内の小学校より依頼を受け、陸上指導にも努めました。陸上指導を通して記録の向上や陸上競技への関心を持ってもらうきっかけとなることを願っています。今後も山形県の陸上競技レベル向上に少しでも貢献できるよう、普及活動に力を入れていく所存です。

新体制となり、気持ちを新たに2年ぶりニューイヤー駅伝への出場を目標に日々励んでおります。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

令和3年度、2年連続のニューイヤー駅伝出場を目指した東日本実業団駅伝は18位となり、2年連続のニューイヤー駅伝出場とはなりませんでしたが、東日本実業団駅伝の結果を受けて各選手の意識に変化が生まれました。熊倉優介が12月の記録会で10000m28分台、5000m13分台(自己ベスト)を出し存在感を示しました。トラックレースだけでなくフルマラソンに挑戦する選手も増える等、気持ちの変化や、マラソン練習・試合の経験により安定感のある走りがみられております。



株式会社きらやか銀行

高橋 宗成選手

<ラグビー>



Rugby

事東北総体4連覇を達成することができました。長年チームを引っ張ってきたベテランメンバーと若手メンバーが融合した素晴らしい試合内容で、「三重とこわか国体」での上位進出が期待されましたが、残念ながら新型コロナウイルス感染症拡大により国体の開催が中止となりました。

令和3年度山形県成年男子ラグビーフットボールチームの活動は「東北総体4連覇」という歴史に名を刻む結果を残したものの、全国の晴れ舞台上で山形県ラグビーを披露することができず非常に悔しい結果となってしまいました。「いちご一会とちぎ国体」に向け、心新たにチーム一丸で頑張ります。

令和3年度山形県成年男子ラグビーフットボールチームは「東北総体4連覇」、「三重とこわか国体 決勝トーナメント進出」を目標に掲げて活動して参りました。

コロナ禍の影響により、各人のトレーニング中心の活動となりました。その中で、7月17日～18日に行われた「第9回東北セブンズ大会in八幡平フェスタ」に参加し、東北各県と試合を行うことができました。初めてチームに参加する若手メンバーも多く、様々なメンバーで試合を行い、チームの戦術等を確認するいい機会となりました。

また、8月21日～22日には東北総体が行われ、予選リーグで岩手県と宮城県から勝利し、決勝トーナメントは岩手県との再戦となりました。安定した貫禄のある試合運びで勝利し、見

令和4年度山形県企業スポーツ振興協議会 会員企業一覧

- | | | |
|--------------------|-------------------------------------|------------------------------|
| 1 アイジー工業株式会社 | 16 株式会社高見屋旅館 | 31 株式会社山形銀行 |
| 2 株式会社曙印刷 | 17 株式会社ダイバーシティメディア | 32 公益社団法人
山形県スポーツ振興21世紀協会 |
| 3 エヌ・デーソフトウェア株式会社 | 18 鶴岡信用金庫 | 33 山形県スポーツ用品小売商業協同組合 |
| 4 遠藤商事株式会社 | 19 株式会社テレビユー山形 | 34 山形建設株式会社 |
| 5 株式会社置環 | 20 株式会社でん六 | 35 株式会社山形新聞社 |
| 6 株式会社カスカワスポーツ | 21 東北電力株式会社 | 36 山形信用金庫 |
| 7 加藤総業株式会社 | 22 日東ベスト株式会社 | 37 株式会社山形テレビ |
| 8 株式会社かわでん | 23 日本地下水開発株式会社 | 38 株式会社山形ドルフィンクラブ |
| 9 株式会社きらやか銀行 | 24 株式会社パスラボ | 39 山形パナソニック株式会社 |
| 10 社会医療法人公徳会 | 25 株式会社プレステージ・インターナショナル
山形BPOパーク | 40 山形放送株式会社 |
| 11 株式会社斎藤農機製作所 | 26 前田製管株式会社 | 41 株式会社山形ミートランド |
| 12 株式会社さくらんぼテレビジョン | 27 升川建設株式会社 | 42 株式会社ヤマザワ |
| 13 渋谷建設株式会社 | 28 株式会社丸定 | 43 ヤマリョー株式会社 |
| 14 株式会社荘内銀行 | 29 株式会社メコム | |
| 15 スズキハイテック株式会社 | 30 株式会社モンテディオ山形 | |
- (五十音順)

会員企業を募集しております

～県内企業でスポーツを頑張っている選手・チームを応援しませんか～

協議会 概要

山形県企業スポーツ振興協議会は、
①企業スポーツ活動の支援
②本県競技スポーツ界の活性化と競技レベルの向上
③優秀スポーツ選手の人材確保
を活動目的に、平成6年8月に設立されました。

歴代 会長

初代 丹羽厚悦 氏
2代 山田昭一 氏
(現会長)
3代 長谷川吉茂 氏

具体的 活動内容

・会員企業の選手に対する競技力向上のための活動助成
・国民体育大会等、各種競技大会参加への協力
・研修会、講習会の開催 など

年会費

20,000円

編集後記

国内で新型コロナウイルス感染症が確認され3年目となりました。新型コロナウイルス感染症が確認された当初は、大会などの延期や中止が相次ぎ、多くのアスリートのみなさんにとって戸惑いもあったことと思います。コロナ禍3年目を迎え、これまで延期や中止となっていたイベントが数年ぶりに開催されるなど、明るい兆しも見えてつあります。引き続きスポーツが、多くの人々の光となることを期待しております。

そして、選手やチームの皆様をはじめ企業スポーツ活動を支える企業の皆様、様々な機会を通してスポーツの力で山形県に活力と元気を与えていきましょう。

本協議会会報を通して県内の企業で活躍される個人、団体の活動を一人でも多くの方に知っていただき応援いただければ幸いです。